

8月10日、17日は
元気塾の夏休みです。
8月31日はデイトリップ



5月25日 ブラインドサッカー体験会

前の週に事前学習をし、いつもより早く集合して、日本ブラインドサッカー協会の小島講師と寺西選手をお迎えした。鈴の入ったサッカーボールに触れることから体験会が始まる。小島講師の迫力あるお声に子ども達は引き付けられていく。鈴の音を聞き、パスを正確に相手に返す寺西選手に息をのむ。小島講師が2つの三角コーンをたたき、ゴールの場所を知らせる。コーンとコーンの間の1メートルの幅に寺西選手がシュートを決める。わあっと歓声があがった。



子ども達に目隠しが配られる。ペアを組んだお友達に体操の動きを説明し耳から得られた動きを表現する。次は4つのグループに分かれて、目隠しをした仲間を声で誘導したり、ボールの方向を伝えてキックの助けをする。ボールを置く時も相手に伝わるように鈴を鳴らしたり、相手に軽くタッチしたり工夫をする。一つ一つの細かい動きにも相手への気持ちを込める。新しい世界との出会いから子ども達はもとより、スタッフの大人も多くを学び感じた90分だった。



寺西選手は体験会の後、子ども達の質問にお答えくださった。14歳で視力を失ったこと。この日は一人で町田からいらした。包丁も使いお料理をすること。子ども達の心の新しい扉が開けられたと信じる。

小林先生の言。

「ハンディキャップを持っていることを全く感じさせない強さと自信に感動しました。自分に自信を持つことや、周囲の人達との関係の大切さを子ども達が感じてくれたら」と思います。

6月1日 ゴーヤの苗植え 「八田興一」について

昨年と同様に、公民館の今福さんに苗を育てて頂いた。今日はその苗を植え替える。腐葉土と石灰を土に混ぜ、苗をいれ、水やりをする。幼虫やげじげじにきゃあきゃあと大騒ぎだった。学習室に戻ると、「八田興一」の映像を吸い込まれるように見てくれていた。山地先生の思いが通じたかしら。



6月8日・15日 元気塾看板づくり

二人一組になり一文字ずつ担当し、ちぎった折り紙を字の形にしていく。それぞれ色合いに個性がでた。次の週、のこぎり、釘、金槌で看板の脚を制作、完成させた。初めての木工作業に夢中だった。



6月15日 牛乳パックで笛づくり



看板づくりと並行して、大橋さんの指導で、牛乳パックを用いて笛を作った。酸欠になるほど練習している。ぴーっと鳴った時は嬉しかったらう。

6月22日 「蚊のいない町をつくろう」

大崎さんは柳小路町内会会長で「モスキートバスターズ」の隊長もしておられる。蚊がいかに悪さをしているかをクイズを交えて楽しくお話頂く。メモをとりながら耳を傾ける子もいた。その後、市民センター西側の雨水升へ行く。子ども達がカップ一杯ずつ塩まきを実践した。他にも銅を使う撃退法も学んだ。蚊の少ない鵜沼の夏を期待したい。



日付	児童	ボランティア	スタッフ	参加者の動向
5月25日	18	5	4	現登録者数25名
6月1日	20	7	4	
6月8日	15	6	5	
6月15日	18	6	4	
6月22日	19	7	5	

ご意見等お寄せ下さい。

写真撮影：高橋和憲

発行責任者：徳永理加